

議 事 録（要約版）

令和 6 年度みのかも定住自立圏首長・ビジョン懇談会委員意見交換会	
日 時	令和 6 年 11 月 27 日（水）10 時 00 分～11 時 33 分
出席者	別紙のとおり
資 料	出席者名簿 資料 1_みのかも定住自立圏_意見交換会当日資料 資料 2_みのかも定住自立圏_首長意見交換会【栗田委員提供資料】
議事内容（要約版）	
美濃加茂市長	・みのかも定住自立圏を推進していく中で、職員間の連携などができてきた。地域全体で経済的な循環や人の共有、交流といったものも享受していかなければいけない。
坂祝町長	・圏域全体で一体となって取り組むことが重要である。 ・今回、地域防災力強化事業に新たに参画することになった。今後は、取組みを通じて圏域市町村との協力体制をさらに強化させたい。
富加町長	・圏域全体で取り組むことが重要である。 ・富加町だけでできることは限られているため、共同して力を合わせて準備していくことが重要だと思う。
栗田委員	・今回の能登半島地震の課題は、ほとんど物が届けられなかったこと。届いた食料もアルファ化米など。そのための取組として、穴水町のセントラルキッチン導入事例を紹介。 ・行政と NPO が連携することによって、お互いの過不足を補い合うことができる。そういうことをキャッチボールする場として、穴水町と穴水町社協、NPO の定期協議の場があったことは大きなきっかけになった。 ・被災高齢者等把握事業について、制度の紹介。 ・被災者支援の現場での課題として、在宅避難をしている方の状態が把握しにくいこと、アレルギー対応があることを共有。 ・被災者見守り相談支援事業について、制度の紹介。 ・災害ケースマネジメントについて紹介。関係する方々の制度に関する総合的な理解が必要である。 ・避難生活で主体となるのは地域住民自身。まずは、避難生活リーダーサポーター研修を住民に受けていただいて、アドバイザーになっていただくという取組が行われている。ぜひみのかも定住自立圏でも取り組んでほしい。災害関連死を防ぎ、地域で支え合う仕組みをつくる努力を今からしていく必要がある。 ・災害が起きると、1 市町村ごとの首長がいろいろな判断せざるを得ない状況に追い込まれる。隣町はどうやっているかをみのかも定住自立圏で事前の対応として充実さ

	せておくことで、お互い災害になった時に連携できるのではないかと思います。 ・今は災害が起こる前なので、研修をどうやって充実させるか、そのための自在育成をどうするかが非常に重要な課題だと思う。
東白川村長	・防災訓練に関する東白川村の取組みを紹介。段ボールベッドを小分けに区切り、ルールやコミュニティを作るような訓練を実施した。 ・来年度以降の課題は行政職員の能力向上である。 ・自主防災会に温度差がある。自主防災会の強化と、それぞれの自主防災会で危機感をもった訓練の実施をめざす。 ・自主防災会長の防災士養成講座への参加など、みのかも定住自立圏を通して実施していただきたい。
白川町長	・防災に関する取組を紹介。以前までは全町一斉で防災訓練を行っていたが、面積が広いと1か所に集まるのが難しいということで、昨年からはそれぞれの地域へ出向いて防災の話や防災訓練をしている。 ・1名専属で防災コーディネーターがいるため、自治会の活動等に出向いて講和等を実施している。 ・防災訓練の内容を改善し、防災に関する補助金の使い方の見直しを進めている。以前は定額でつけていたが、自治会の世帯数や人員の数も差が大きいため、防災コーディネーターが出向くような事業に限り、その中で必要な備蓄品や装備品に対して補助を出す形に変更した。 ・防災運動会を開催した。 ・美濃加茂市まで行くのは距離があるため、細かい地域ごとに研修を行っていただけるとありがたい。
川辺町長	・「食べる、出す、寝る」の3要素は生存のための大切な要素である。 ・阪神淡路大震災の尼崎市長に関する議論、横井庄一さんの話から、生きることが一番重要であり、個人が生存手段について考えるべきであると感じた。 ・地震発生から5分をまずは乗り切るため、普段から自らの身を自らで守るためにどうするかを考える必要がある。 ・公助を考える前に、まずは自助、共助を考えることが必要だと思う。
富加町長	・市町村間や社協との防災情報共有が必要である。実際に災害が起きたときにどうするのかという連携をするための話は定住自立圏の中でどうなっているのか。 ・災害時、受け入れ体制のマニュアルがあったとしても、実際にどう指示すればいいのか分からないという話を被災された方から聞いた。その情報共有を実際にどうしていくのか、広域的により深く勉強する場をいただきたい。 ・応援職員の宿泊体制整備が必要である。富加町には宿泊施設がないため、圏域での

	体制作りを検討していかなければいけないと思う。
美濃加茂市 防災安全課	・職員間の連携と社協との協力体制について現状を説明。美濃加茂市では、防災安全課、福祉課、社協と、災害時に開設されるボランティアセンターでコーディネートしていく体制を確立するための協議を始めた。広域では、県社協でそういったコーディネートがされると聞いているが詳細は未定。 ・みのかも定住自立圏での取り組みとしては、来年度から各市町村の災害備蓄品の管理に関する共通システムを導入する。有事の際にも対応できるよう、平時からの体制を作っていきたいと思っている。まずはその辺りについて全域で取り組むことができればいいと思う。 ・応援職員の宿泊について、十分な平地が自治体によっては確保できない、あるいはアクセス的に不便であるということもあり得ると思う。各市町村のどこが想定されているかは把握できていないが、有事の際は相互で利用できるようなことも必要だと思うため、また確認する。
美濃加茂市長	・美濃加茂市で実施した災害時応急救護訓練について紹介。 ・圏域でお互いを支え合うために、それぞれの市町村がどういった体制を組んでいるのかを担当職員で共有すること、お互いが知ることから始めることが大切。その中で、被災避難所や宿泊施設などに関する交流ができればいいと思う。 ・社協以外にも、関係団体がいろいろあると思うため、県などに提案しながら圏域でどういう共存ができるか問題提起していきたい。
坂祝町長	・住民の防災意識の差が顕著に表れている。 ・防災担当職員は他業務と兼務していること、異動があることから、有事の際ノウハウが分からない状態での対応にならないか懸念している。そのため、基盤づくり、マニュアル化が必須になってくる。 ・セントラルキッチンに関して被災状況に対応したマニュアル的なアドバイスと、被災高齢者等把握事業に関する効率的な方法についてのアドバイスをいただきたい。
七宗町長	・輪島市と中能登町へ行った際、高齢者は段ボールベッドをあまり使わなかったため棚として使用していたと聞いた。 ・住んでいる組織の中で、行事などで活躍している方が防災士としても力を発揮していただけるのではないかと思います。ボランティアセンターと防災士についても関わりがないため、マッチングしていただきたい。
栗田委員	・災害が起こる前にどうやって自分達で対策を強化していくのかというのが一番重要な課題ではあるが、どれだけ備えていても何らかの課題は残る。能登半島地震ではその課題が明確になった。 ・人命救助は重要だが、生き残った方々を支援する部隊の必要性も感じる。どちらも

	必要である。 ・避難生活の課題改善のため、地域の中で地域住民同士が支え合い、外部支援を適切に活用することが必要である。 ・災害時に迅速に対応するためには。職員の研修や準備が必要である。 ・いろいろな制度について、事前に知ることができるような研修を行うことですぐに活用できると思う。セントラルキッチンはその応用として好事例だと思う。 ・セントラルキッチンのマニュアルについては、多分コンサルが作ってみせるような機会が出てくるのではと思う。また機会を見つけて資料提供はできると思う。 ・防災士の質について、温度差があるのはしょうがないため、リカレントすることフォローアップすることの機会を圏域でしっかりとやってはどうか提案している。現場を知っている方に参画していただくことが必要だと思う。その機会の一つとして、リーダーサポーター研修などを取り込んで積極的に参画を促すような流れになるといいと思う。 ・段ボールベッドが余っていた話については、多分フェーズが大分後の話なのではないかと思う。段ボールベッドは要らないという方もいるが、高齢者の場合は起居がしやすくなるため、選択できるようにしなければいけない。 ・段ボールベッドが届いても、どう扱っていいか分からず放置されていたことがあった。 ・感染症を防ぐためにも、寝る空間を整えることが重要である。 ・地域の中での人材育成が重要である。それが、役場の負担減や被災証明の発行を早く進めることにつながる。行政は本来何をすべきか、しっかり対応していくことができような全体像が分かる首長さんであっていただきたい。 ・行政や社協、民生委員等、それぞれやっていることをつないでいく時期だと思う。
--	--

以上

令和6年度みのかも定住自立圏
首長・ビジョン懇談会委員意見交換会 出席者名簿

	所 属	職 名	氏 名（敬称略）
1	美濃加茂市	市長	ふじい ひろと 藤井 浩人
2	坂祝町	町長	いとう たかひろ 伊藤 敬宏
3	富加町	町長	わたなべ けいた 渡邊 圭太
4	川辺町	町長	さとう みつひろ 佐藤 光宏
5	七宗町	町長	かのう よしあき 加納 福明
6	白川町	町長	さえき まさたか 佐伯 正貴
7	東白川村	村長	いまい としろう 今井 俊郎
8	認定特定非営利活動法人 レスキューストックヤード	代表理事	くりた のぶゆき 栗田 暢之
欠席	八百津町	町長	かねこ まさのり 金子 政則